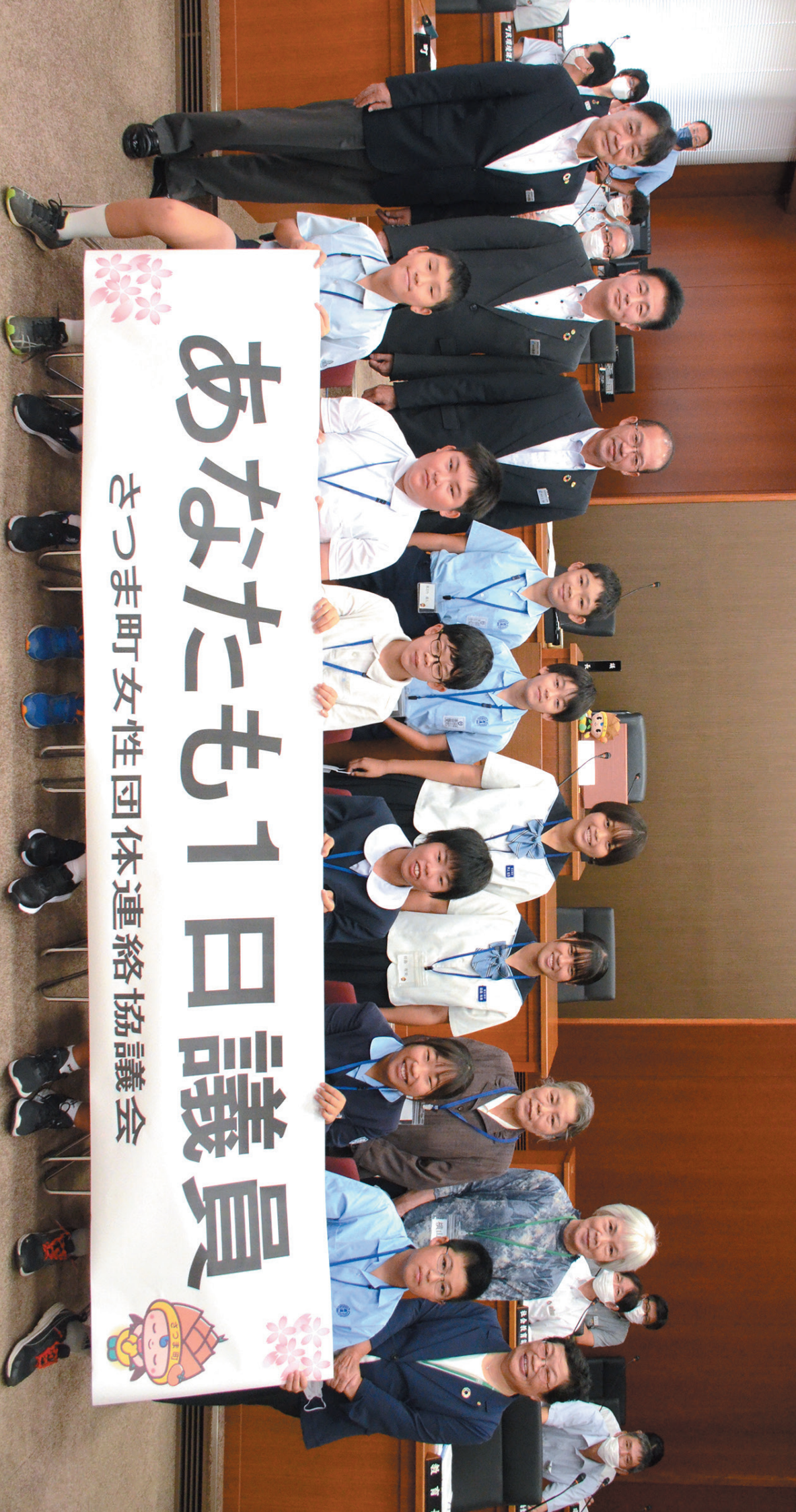




さつま町女性団体連絡協議会

あなたも1日議員

議会だより No.71

令和4年11月4日発行

条例、補正予算の概要	P2～P3
常任委員会審査の概要	P4～P5
一般質問（8人）	P6～P13
町民アンケートの結果	P14～P15
あなたも一日議員の内容	P16～P17
議会活動	P18

《さつま町ホームページ》

<https://www.satsuma-net.jp>

トップページの下の画面から
議会情報をご覧ください。

さつま町議会



ここをクリック

令和4年度各会計9月補正予算額

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計 (6号・7号)	5億7,159万円	166億8,559万円
特別会計 介護保険事業	1億9,683万円	37億3,586万円

※金額は千円単位を四捨五入

9月定例会

第3回(9月)定例会は、9月2日から9月22日までの21日間の会期で行われ、専決処分の承認1件、条例の一部改正1件、各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

補正予算の概要

※金額は千円単位を四捨五入

価格高騰緊急支援給付金給付事業費

2億2,919万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に影響が大きい低所得者世帯に対して、1世帯5万円の現金給付に要する経費です。



商工振興事務費

6,297万円

町内対象店舗でキャッシュレス決済(QRコード・バーコード決済)を行った消費者に対し、ポイントを付与することで、生活者の支援や町内経済の後押しをします。



フレッシュファーマー育成事業費

788万円

農業への人材の呼び込みと定着のために機械等導入への支援、及び新たに農業経営を開始する者に対しての資金の助成です。



公園管理費

800万円

かぐや姫グラウンドのラグビーゴール2コート分を更新し、ラグビー競技利用の環境整備を行う経費が計上されています。



整備を行うかぐや姫グラウンド

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

4,557万円

初回(1・2回目)接種を完了した12歳以上の者へオミクロン株対応ワクチンの追加接種、生後6か月以上4歳以下の者への初回接種等に関する経費です。



税収入償還費

1,300万円

町内事業所の確定申告により法人町民税の金額が確定したことから、昨年度予定申告納付されていた金額との差額が生じたことによる還付金です。



どう変わった 我が町の条例

さつま町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

「地方公務員の育児休業等に関する法律」が改正されたことから、非常勤職員の育児休業に係る規定等を改正し、育児を行う職員の仕事と家庭の両立を推進するものです。

その他の議決事項

町道川口平川線橋梁上部高架設工事請負契約の締結

町道川口平川線に設置済みの橋脚に、新たに橋梁上部の設置を行うものです。

■契約金額

5億2919万

2620円

■契約の相手方

オリエンタル白石(株)

柏原小学校大規模改造工事請負変更契約の締結

柏原小学校の大規模改造工事による施設の再調査に伴い、新たに改修箇所が生じたことにより変更契約を行うものです。

■変更請負金額

510万8330円

■変更後契約金額

1億9136万円

■契約の相手方

田島・村田特定建設工事共同企業体

高規格救急自動車及び救急用資機材一式購入契約の締結

購入後11年経過している車両及び救急用資機材を更新するものです。

■契約金額

3300万円

■契約の相手方

鹿児島トヨタ自動車株式会社

■乗車定員

7人

町道柵野線道路災害復旧工事請負契約の締結

令和3年7月豪雨により被災した、町道柵野線の復旧工事に係る費用です。

■契約金額

8305万円

■契約の相手方

(株)白川田工務店

専決処分

1件の専決処分を議会で承認

●公共土木施設災害復旧事業費に要する経費を補正。

人事案件に同意しました

人権擁護委員



栗野 明男 氏



今東 秀嗣 氏

任期：令和5年1月1日から

どうなった！あなたの請願

請願1件を審査しました

不採択

沖縄戦線戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないことを求める請願

◎陳情者

岩崎ワカ氏

◎紹介議員

有川美子議員

◇議員の審査意見

・辺野古基地建設の埋め立て方法やこれまでの遺骨収集の取り扱いの実態がわからない。
・沖縄県以外にも広島・長崎・鹿児島市等、戦没者の遺骨は数多くあるが、なぜ沖縄に限定しているのか。
・法律に基づき国が遺骨収集を実施しているものである程度理解できるが、遺骨を含む土砂の実態がわからないのに、その是非を町議会で審査ができるのか。

※本審査は人道的な案件であり、多くの議員での協議が必要と判断し、総務厚生常任委員会と文教経済常任委員会との連合審査会で審査しました。

委員会に付託された議案を全て可決

委員長	岸良光廣
副委員長	中村慎一
委員	平山俊郎
委員	上園一行
委員	森山 大
委員	新改秀作
委員	有川美子

総務厚生
常任委員会

委員会で付託された条例改正1件、令和4年度一般会計（関係分）及び特別会計の補正予算1件、請願1件が審議されました。

委員会審査の中で出された主な質疑、意見などを掲載しています。



さつま町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

問 育児取得のための職員配置や再任用職員の活用は

答 本人が育児取得をためらうことがないようになければならないが、そのことにより住民サービスの低下とまらないように職員配置については検討していく。また、再任用職員の職の在り方や会計年度任用職員の担うべき役割についても検討を行い、併せて研修等で職員としての意識付けを行っていく。

令和4年度一般会計補正予算（第3号）関係分

問 役場本庁舎電源ブレーカーはこれまでに設置されていないか

答 電源ブレーカーは庁舎屋上のキュービクル式高圧受電設備の中にあり、電気主任技術者の資格がないと操作できないため、今後管理がしやすいようにポンプ室内に別途設置をする。

問 法人町民税に還付金の発生した要因である従業員の減少はどれくらいか

答 該当法人は元々約6600人の従業員がおり、うち本町は約1000人であった。確定申告により、全体で約3700人、本町で約110人となり、従業員割合が16%から3%に減少したことが税額に反映されている。

問 環境センターは築23年経過しているが改修箇所は多いか

答 これまでも必要に応じて修繕を行ってきたが、築20年以上経過していることもあり、老朽化している部分が多くなっている。また、機械が古くなり部品が製造中止のため、次は修繕ができない可能性もある。

問 耐震性貯水槽工事が予算不足となつた理由は

答 当初算出していた金額から入札時点で大きく値上がりをしていった。値上がりの要因は、資材価格の高騰と令和4年度に耐震性貯水槽の規格変更があり、施工法の変更があったことから、使用資材の量が増加したことによる。

令和4年度さつま町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

問 次期介護保険事業計画で基金を投入し、介護保険料を引き下げる考えは

答 現在、1号被保険者と介護保険認定者は減少してきているが、前期高齢者が介護の必要性が高まる後期高齢者に移行するタイミングで極端な値上げとなることがないよう、基金の状況を踏まえ介護保険料を検討する。

問 法人町民税に償還金が生じることによる、今後の税収見込みと一般財源確保への影響は

答 令和4年度の法人町民税は約6千万円の減収見込みである。一般財源の確保では、今後も交付税の減額が見込まれ、自主財源の確保が非常に大切である。課税客体の確な把握・滞納整理による徴収強化などによる税収の確保、併せてお金を生む・経済を活性化させる対策を検討していきたい。



半地下式(埋設型)耐震性貯水槽

委員会に付託された議案を全て可決

委員長 新改幸一
副委員長 上久保澄雄
委員 橋之口富雄
委員 上別府ユキ
委員 平八重光輝
委員 古田昌也
委員 川口憲男
委員 柏木幸平

令和4年度一般会計
補正予算（第3号）
関係分

文教経済
常任委員会

委員会で付託された令和4年度一般会計補正予算（関係分）、さつま町上水道事業会計補正予算1件が審議されました。委員会審査の中で出された主な質疑、意見などを掲載しています。

問 集落営農組織はどのような目標を掲げて活性化促進に取り組んでいるか

答 5年計画のロードマップを策定しており、農地の集積、事業の周年化、高収益作物への取組などを掲げ、集落営農の活性化を図っている。

問 林地台帳システム運動高精度受信機をどのように活用されるのか

答 山林の管理が困難なため町で管理をして欲しいという要望があれば町が一定期間預かって管理することになるが、これまで時間のかかっていた境界の把握をスムーズに行うため端末を活用する。

問 キャッシュレス決済自治体応援キャンペーン事業は、事業者支援なのか生活者支援なのか

答 買い物をしていただくことで地域経済を活性化し、町内の事業者を応援するために取り組む計画である。

問 社員用住宅用地取得費・建設費及びリフォームの補助は、何件程度の住宅取得を見込んでいるか

答 早急に実施される話ではないが、新築2件、既存住宅1件の希望がある。また、10月からの事業開始を予定しており、事業概要について町内企業に周知していきたい。

問 柏原小学校の大规模改修に伴う柏原小学校児童の旧流水小学校へのバス送迎は問題なく運行できているか

答 教育委員会職員や学校職員でバス停や校門などから安全確認をしており、また地域の方々も見守りをしていただいていることから、現在のところ登下校の問題は発生していないと認識している。

令和4年度さつま町
上水道事業会計補正
予算（第2号）

問 折小野中継ポンプからの異音について給水への影響はないのか

答 2基のポンプが設置されており、その内1基から異音があるがポンプ能力に問題は無い。しかし、安全性を確保することから正常な1基のみで運転しており、給水への影響はない。

令和4年第4回(12月)定例会は12月2日開会予定です。

1 2月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
11/27	11/28 議運	11/29 全協	11/30	1	2 本会議 (開会日)	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 常任委員会	8 常任委員会	9 常任委員会	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 議運 全協	22	23 本会議 (開会日)	24

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局（53-1111）にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

一般質問

町政を問う



一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることで、単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、9月定例会では8人の議員が一般質問を行います。

平山 俊郎 (7ページ)

- ・宮之城中学校の武道教育について

橋之口 富雄 (7ページ)

- ・生ごみ処理について

新改 秀作 (8ページ)

- ・町民の健康増進を図るための施設の在り方について
- ・夏休みの在り方について

川口 憲男 (9ページ)

- ・地域の活性化について
- ・限界集落への対応策について

古田 昌也 (10ページ)

- ・役場職員の人材育成について
- ・民間事業者への財産の譲渡や行政支援について

有川 美子 (11ページ)

- ・退職自衛官の再就職支援について
- ・男女共同参画の推進について
- ・英語検定の補助対象外者について

柏木 幸平 (12ページ)

- ・障がい者、高齢者の福祉対策と支援について
- ・男性の育休取得について

平八重 光輝 (13ページ)

- ・やさしさ日本一の町について

※一般質問に関する記事の掲載順番が一部、一般質問を行った順番とは異なっていますのでご注意ください。

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

一般質問 1 日目の動画配信

平山 俊郎
新改 秀作
川口 憲男
古田 昌也
橋之口 富雄



一般質問 2 日目の動画配信

有川 美子
柏木 幸平
平八重 光輝





平山 俊郎 議員

有効活用

どうぞ 武道教育の道着は

教育長／道着の貸し出しを検討



旧薩摩中学校に保管されている柔道着

問

中学校の必修科目に宮之城中学校では、柔道を選択している。柔道着の購入は個人負担で、保護者から「卒業時にはきれいでなく困っている」等の声がある。今後、学校で備品として購入し、貸し出す等の考えはないか。

答

現在、宮之城中学校では卒業生から制服や指定カバン等を譲り受ける取組を行っている。SDGsの観点から柔道着の貸出しも大切であると考えている。中学校再編前からの柔道着も保管されているので、同様の取組ができるように中学校に情報提供していく。

ごみ問題

生ごみの異物混入対策は

町長／周知の徹底をする



橋之口 富雄 議員



生ごみの堆肥化施設

問

家庭生ごみに異物が混入して肥料に出来ないという異物混入させないための対策を取っているのか。また、肥料の無料配布ができていない現状だが、どのように考えているか。

答

防災行政無線や各公民会放送により周知を行っている。また、収集後に受入事業者において、異物の除去を行っている。肥料の配布が出来ていないわけではないが、今後生ごみリサイクル推進のためにも、家庭菜園などの肥料として有効活用していただきたい。

問

配布できない肥料は

町長／受け入れ業者が保管

答

生ごみのリサイクル率は収集量で令和2年度10・4%、令和3年度11・5%だった。一般廃棄物処理実施計画では、可燃・不燃・資源ごみの収集量の目標を定めている。配布できなかった肥料は受け入れ業者の堆肥化施設に保管されている。

生ごみのリサイクル率は現在何パーセントなのか。また、目標は設定しているのか、配布できなかった肥料は県内の業者が処理をしていると聞くが、実情はどうか。

施設管理

トレセンの管理運営は

教育長／効率的な運営に努める



新改 秀作 議員

問 施設の維持また指導員育成、子どもから大人まで参加できる総合的スポーツクラブの取組が必要と思われるが、現在のトレーニングセンターの運営方法及び利用状況は。

答 トレーニングセンターの施設管理は会計年度任用職員が行い、受付業務は令和3年4月よりシルバー人材センターに委託している。令和3年度の利用者は338人で、トレーニングルームの利用者は167人。新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。



宮之城トレーニングセンター（外観）とトレーニング室内

問 トレーニングセンターの器具は十分そろっているのか。また、今後の運営方法についてはどのように考えているか。

答 トレーニング器具は設置してあるが、老朽化により壊れている物もある。利用者の要望を聞きながら予算等も考慮して検討したい。また、今後の運営方法についても、あらゆる方向から検討していく。

健康増進

温泉プールの管理等は

教育長／効率的な施設利用を研究



宮之城屋内温泉プール

問 町民の健康増進のため基本的な考え方と、2つの施設について問う。
宮之城屋内温泉プールの運営方法はどのようになっているか。また、利用状況はどうか。そしてプールからの排水は近隣へ害はないか。

答 基本的には「さつま町総合振興計画」の中で健康増進の推進を図っている。令和3年には、新型コロナウイルスの影響等もあり、利用者は1万9千人程であった。また、プールの排水は残留塩素を中和しているので安全性に問題はない。

問 学校のプールについては、維持費また指導者等の問題がある。そこで専門スタッフのいるプールでの授業は考えられないか。また、今後の町営プールの運営方針はどのように考えているか。

答 本町の学校全てにプールがあり、老朽化が進んでいる。現在、2つの学校がB&Gプールを授業で利用している。水泳は学校の必須科目のため、維持管理費や効率的な施設利用について研究・検討していきたい。

※その他の質問
夏休みの在り方について



川口 憲男 議員

集落支援

公民館等への支援策は

町長／課題解決に取り組む

問

区公民館・公民会への支援策は現状で十分と捉えられているのか。人口減少で地域では財政負担も増えている。積立等の施策は講じられているが、現状は厳しい状況にある。新たな施策・支援をする考えは。

答

地域担当職員を配置し、20公民館と129公民会に対して補助金等の交付をしている。現在の支援策で十分とは考えていないが、自治会において出来るだけ住民の負担軽減に繋がるように、地域の問題解決に努めていきたい。

公民館の管理運営は

町長／地域活動の推進を支援

問

全ての公民館が近い将来自主管理の方向となる。今後役員選出等や、財政的にも厳しい運営が予想されるが、行政としての地域活性化策への取り組み、魅力ある地域づくりの支援策が重要と考えるが。

答

令和7年度末で全ての区公民館が管理運営する自治公民館へ移行を進める。公民館施設整備補助金等、地域の活力・活動の活性化が推進されるよう支援の充実を図り、魅力ある地域の形成に努める。



町内20区で開催される町政座談会の様子（湯田区）

地域対策

限界集落への対応策は

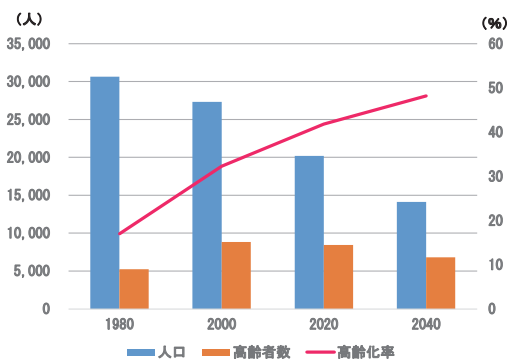
町長／地域の特性を活かして

問

人口減対策については厳しい状況である。今後は区も限界と呼ばれる状況になりかねない。ふるさとが人を引き付ける魅力的な地域づくりを行うため、地域と一体となった課題取組への考えは。

答

将来にわたり、持続可能な集落維持には、移住・定住と若者の流出抑制、そして人を引き付ける魅力的な地域づくりに各地域が特性を活かして、地域主体で進める事が大事と考える。



さつま町の人口の推移

職員派遣

民間等への職員派遣を

町長／積極的な検討を指示



古田 昌也 議員

問

役場職員の業務内容が多様化する現在において、民間企業との関わり合いも強く求められている。今まで県や国への出向などはみられるが、民間企業や各種団体への出向や派遣をする考えはないか。

答

本町は現在のところ民間企業への派遣実績はない。しかし、マニフェストの中で新しい時代に対応できる職員育成（専門性の向上）を掲げている。したがって、出向や派遣の実現に向けて積極的に検討するように指示している。

町長の掲げる6つの実行目標

- ・「安全で安心して暮らせるまちづくり」
- ・「稼げる農林業・商工業の推進」
- ・「学校、家庭教育の充実と地域振興」
- ・「さつま町で産み、育て、安心して暮らせるまちづくり」
- ・「交流、関係人口増対策」
- ・「行政改革の推進」



町長マニフェスト

民間からの出向効果は

町長／連携・協力が不可欠

問

民間企業からの出向者を配置しているが、行政サービスへの導入効果はどうか。また、デジタル化を推進するには広く意見の集約が必要と考えるがどうか。

答

町民の利便性を向上させるとともに、効率化を図り行政サービスの向上に繋がっていく。そのためには行政事務を熟知している職員など、組織内の枠組みを超えた横の連携を強めて、町民サービスの向上と業務の効率化を着実に進めていく。

財産活用

町有財産の活用は

町長／要望に応じて検討



代表的な遊休施設
さつま町公設地方卸売市場
(旧水産部)

問

新型コロナウイルス感染症も落ち着かず、民間事業者は不安定な経営を余儀なくされている。町内の経済支援の観点から、町が保有している財産を譲渡や低料金で貸出しをする考えはないか。また、そのような要望はないか。

答

遊休施設（普通財産）が増えつつあり、また全国的にも大きな課題となっている。現在も数件そのような要望があり、当初の目的を終えた遊休施設については、売却など有効活用を行い、地域の活性化や財源の確保、施設の維持管理費の縮減を図っていく。



有川 美子 議員

人材確保

自衛官の再就職支援を

町長／新たに取り組む

問

自衛官の退職時期は大きく2通りで、20歳代～30歳代という若年での任期満了退職と、50歳代半ばでの定年退職だ。国防という重責を担われた皆様に、人もやさしく、自然豊かな本町で疲れを癒し、本町で再就職していただきたい。再就職支援活動の実状及び今後の支援活動の考えは。

答

退職自衛官を対象とした再就職支援活動は実施していないが、製造業に関する会社の概要や求人に関する状況、農業・就業に関する情報提供などを行うことで、本町も第2の人生を過ごす候補となるよう取り組んでいく。様々な職種においてご活躍いただければ有り難い。

問

自衛官向け就業体験を

町長／積極的に紹介していく

答

若年で退職される自衛官や若者へ、本町がどれだけの受け皿を用意できるかは、大きな課題である。担い手不足の職種において、自衛官向けの就業体験を実施し、人材を確保する考えはないか。

就業体験の実施については、自衛隊員に限定した内容を実施するのではなく、幅広い人たちを対象としている中で、自衛隊員が参加可能なイベントやプログラムを積極的に紹介、今後更に、人材の確保や移住定住の強化が図れるよう、取り組む。



町職員人権研修会

意識改革

職員研修は十分か

町長／新規採用時と毎年実施

問

重点目標の施策、健やかに安心して暮らせる「社会づくり」の基本方向「男女共同参画の視点に立った地域コミュニティづくりの推進」は、大切な取組であり、人材育成については公民共に重要である。男女共同参画に対する役場職員の研修は十分か、その実施状況は。

答

毎年、すべての新規採用職員が、男女共同参画の基本となる研修を受講。また、町独自に毎年1回の人権啓発研修を実施。この研修では、家庭での固定的性別役割意識や職場での男女格差の解消、男女協働による地域づくりなど、女性の人権に関する内容が含まれており、考え方を学ぶ一つの機会と捉えている。

地域で活躍する人材は

町長／

新たな確保が必要

問

県は、地域で活動する人材として男女共同参画地域推進員制度を設けているが、本町の推進員の実績や活動内容はどうなっているか。

答

現在1名が県より委嘱され、その活動内容は、公民会や学校などでの講話を通じた男女共同参画社会の実現に向けた周知・啓発活動や県・市町村が行う施策推進への協力などが主である。今後、男女共同参画の理解を広げるためには、新たな推進員の確保が必要である。

※その他の質問
・英語検定の補助対象外者について

福祉対策

町民にやさしい庁舎に

町長／随時改善に努める



柏木 幸平 議員



役場本庁舎南側駐車場

問 来庁者が利用しやすいバリアフリーを基本としている。また、誘導表示を設置し、総合案内の配置や車いすとベビーカー等への備えをしている。一部手すりのないところは、設置を検討する。駐車場は、専用の駐車場3台と歩行困難な方や妊婦優先の思いやり駐車場を設置してのことで、利用状況をみて対応する。

答 本町の正面玄関やエントランスホールに、身障者に配慮した手すりなどがない。また、庁舎南側の駐車場には屋根がなく、車いすでは濡れずに移動できない。今後、屋根付き駐車場の改修計画はないのか。

問 役場へ来庁される障がい者や高齢者または町民の方が気持ちよく庁舎を利用できるように望むが、職員に声掛けしやすい環境や職員の対応はどのようにされているか。

答 本庁舎では、総合案内窓口で来庁者への丁寧な案内に努めている。また、職員には庁舎内でお困りのお客様を見かけた場合は、すぐに駆け寄り、話を伺い、丁寧な対応に努めさせている。

職員の声掛けと対応は町長／丁寧な対応に努力

問 1人あたりの医療費は年々増加傾向にある。自分の健康維持や増進のため、病院に通わず、全額自費で身体的リハビリをされている高齢者もいる。高齢者への鍼灸やマッサージ等の施術助成はできないか。

答 本町の高齢化率は42%である。施術助成による治療院等の利用促進により、高齢者の健康増進が期待され、有効な事業であることは認識している。他の自治体でも実施しているところもあるので検討する。

高齢者に施術助成を町長／有効事業を検討



問 改正育児・介護休業法が、今年4月から段階的に施行され、10月には妻の産休期間に合わせて取れる「産後パパ育休」が始まる。職場の理解が得づらい事などから取得をためらう人が多い。町の男性職員・教員の育児休業取得はどうか。

答 令和2年度、総務省の調査では、全国の自治体で、男性職員の取得率は13.2%である。本町の状況は、女性職員で100%に對し、男性職員は0%である。教員は、令和2年の記録で1件の取得がある。出産補助休暇は、必要に応じ取得している。

男性育休

男性職員・教員の育休取得は

町長／男性職員の取得率はゼロ



平八重 光輝 議員

デジタル化

やさしさ日本一の町に

町長／積極的に推進検討

答 行政のデジタル化の推進はマニフェストの一つであり、住民サービスの向上や役場職員の業務効率化に繋がることから、具体策について積極的に推進及び検討する。

問 社会のデジタル化が急速に進んでいる中、多くの機器やシステムが活用されている。デジタル化により町民が恩恵を受けられるように書かない窓口の実現により、来庁者の手続き負担を軽減する。手続き不要システムの導入を。



スマートフォン講座
(虎居地区公民館)

答 社会教育課で「パソコン講座」や「スマートフォン講座」を実施している。本町の高齢化率は42%で、どちらかといえば高齢の方への配慮が必要と思われる。今後も生涯学習講座のような機会を維持しつつ、対策を図る。

問 デジタル技術の発展により便利になる中で、デジタル機器を利用できる人、できない人の格差が生じている。多くの人が使えるようにデジタル格差の解消を。



児童相談所が設置される予定の
北薩地域振興局さつま庁舎

児童相談所の設置は

町長／町への設置要望を

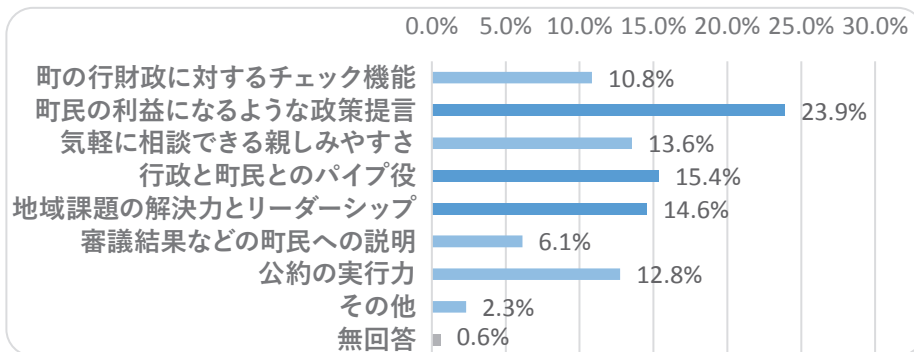
問 今年3月25日に県内の児童相談所の体制を検討する委員会が、児童相談所を県北部に新設し、場所はさつま町が望ましいと知事に最終報告している。検討委員会・県から連絡や問い合わせはあったか。また、さつま町の対応は。

答 6月に県子ども支援課において、新たな児童相談所の管轄になりえる自治体にオンライン会議で報告書等の説明があった。本町に設置される場合は、出来る限りの協力はしていく。県に対しては障害のある方や子ども・乳幼児連れの方などに対応する施設を要望した。

※一般質問が行われた翌日の9月9日、鹿児島県は2023年4月さつま町の北薩地域振興局さつま庁舎に県内4カ所目の児童相談所を開設する方針を固めたと発表しました。

Ⅲ さつま町議会議員について

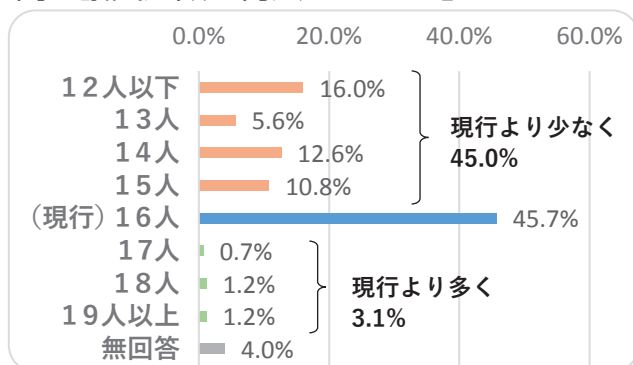
問 議員に対して特に何を期待しますか。



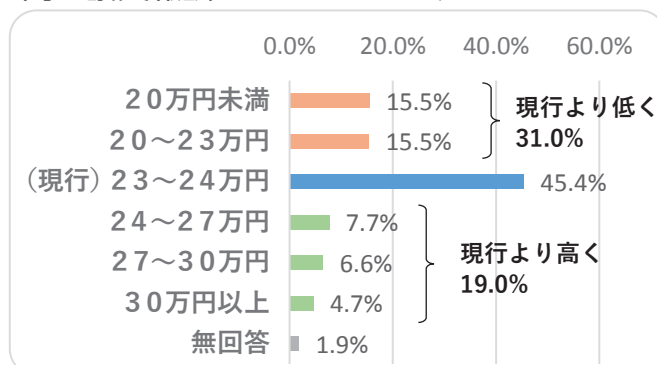
○ 町民のための政策提言や地域課題の解決力などに期待を寄せている意見が多いようでした。

また、その他として、何も期待しないという意見もありました。

問 議員定数は何人がよいと思いますか。



問 議員報酬はどれくらいが適当ですか。

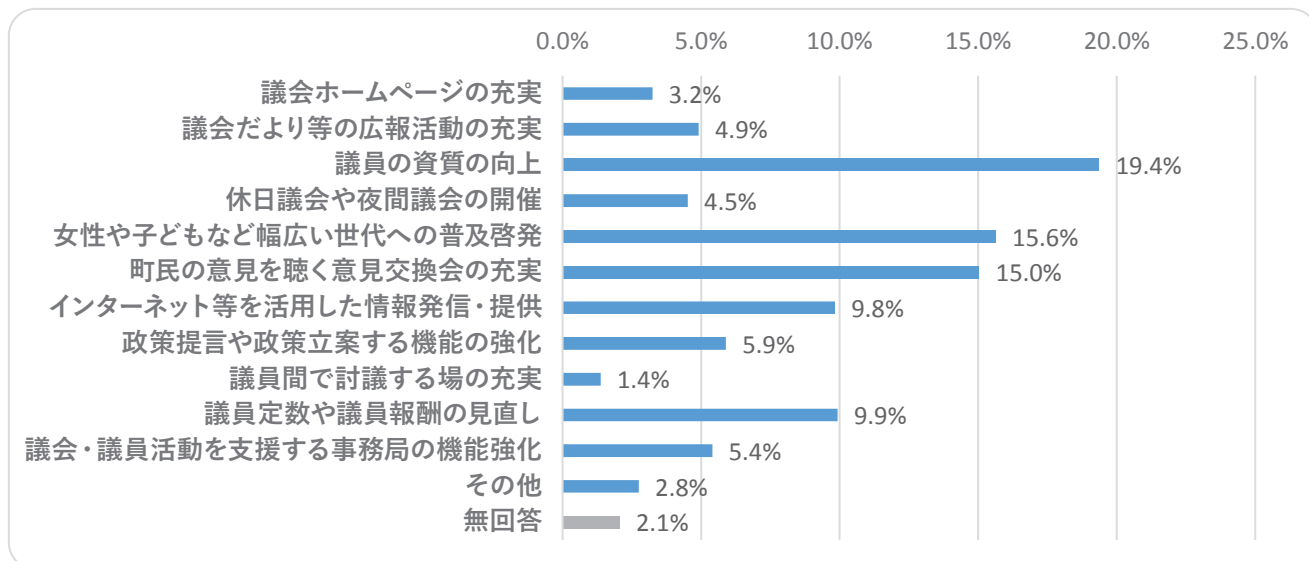


○ 定数・報酬とも現行どおりが良いという意見が最も多い結果となりました。ただし、特に議員定数については、現行より少なくても良いという意見も多い結果となりました。

政務活動費の支給については、必要だと思う34.9%、必要ない28.6%、わからない32.3%でした。

Ⅳ 議会改革について

問 今後のさつま町議会の改革について、取り組むべき課題は何だと思いますか。



○ 議員の資質の向上が最も多く、次いで幅広い世代への普及啓発、意見交換会の充実といった開かれた議会への取り組みについて、多く意見が寄せられました。

紙面の都合上、全ての質問を掲載することができませんでしたので、ご覧になりたい方は議会事務局へお越しいただくか、右側QRコードよりご覧ください。



令和4年度議会改革のためのアンケート調査結果

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。この調査をもとに、これまでの議会の活性化や今後の議会のあるべき姿について分析し、さつま町議会の活性化を図っていきたいと考えています。

◎アンケート調査の概要◎

【調査地域】 さつま町全域
 【調査対象】 町内18歳以上の男女1,000人（男500人、女500人）
 （年代別に対象人数を設定し無作為抽出）
 【調査時期】 令和4年8月1日～8月31日
 【回収数】 427人 【回収率】 42.7%

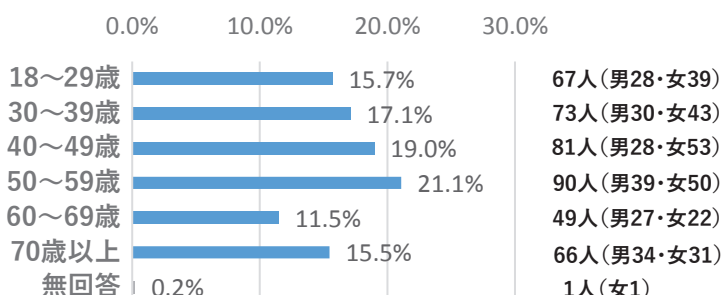
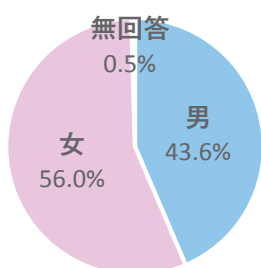
※上記以外の64名のオンライン回答の結果はホームページに掲載しています。

アンケート対象者

30歳未満 200人
 30歳代 200人
 40歳代 200人
 50歳代 200人
 60歳以上 200人

I あなたのことについて

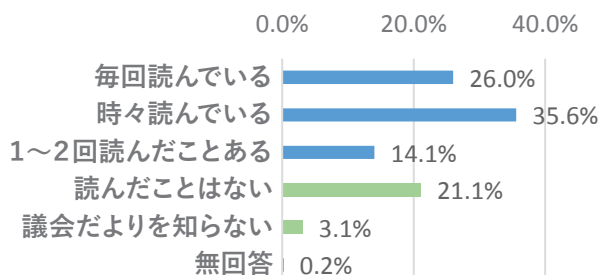
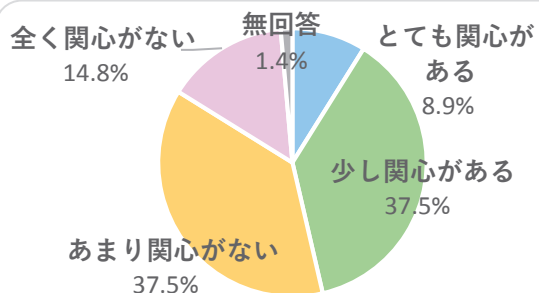
問 あなたの性別はどちらですか。 問 あなたの年代はどれですか。



- 男女比では女性の回答が多く、年代別では60歳以上の回答が多い結果となりました。
 また、年代が上がるにつれ男性の回答率が高くなる傾向にあります。

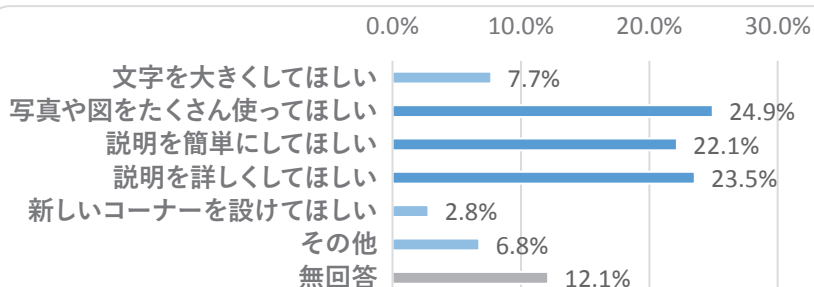
II さつま町議会について

問 さつま町議会に関心がありますか。 問 「議会だより」を読んだことがありますか。



- 町議会に関心のある方・ない方はほぼ同数ですが、8割程度の方が議会だよりを読んだことがあります、より多くの方に定期的にご覧いただけるよう周知や紙面の改善が必要です。

問 「議会だより」の充実のためにどのようなことを望みますか。



- 写真や図をたくさん使ってほしいという意見が最も多いでした。

また、その他として一般質問等のその後の結果などの記載を望む声もありました。



盈進小学校
ほりのうちよしと
堀之内 義人さん

人口減について

さつま町の人口は、これからも減っていくと思いますが、人口が減っていくことで困ること何ですか。また、減らない取組はしていますか。

町長 人口が減ると買い物だけでなく、会社や病院、食事をするお店なども減っていくことが心配されます。人口が減ることで、町にとってよいことは何もありません。次に、人口が減らない取組につきましては、家を建てるための土地の販売や、町内で住む人がいなくなった空き家の情報を集めて、住みたい人に紹介する取組など様々な取組を進めているところです。

町づくりについて

町長は、なぜ町長になろうと思ったのですか。また、町長はこれからどのような町にしようと考えていますか。

町長 町内に住むお一人お一人が快適でいきいきと幸せな暮らしを続けられるような町づくりに取り組みたいと考えています。これからの新しい時代を担う子ども達が、のびのびと健やかに成長でき、安心して子育てができるまち、また、これまでさつま町の発展に力を尽くしてこられた皆さんが、なるべく不自由なく安心して暮らせるまちを目指していきたいと考えています。



盈進小学校
ほんだ ふうま
本田 楓真さん



宮之城中学校
いのうえ し の
井上 志乃さん

芸術文化を活かした町おこしについて

芸術と触れ合う機会をつくり、「芸術に力を入れている」ということを新たな魅力として町おこしを行っていく考えはありますか。

教育長 町の芸術・文化のイベントは大変にバラエティに富んでおり、また、ボリュームもあります。人口2万人の町で実にたくさんの芸術文化活動が行われている、このことはさつま町民として誇れることだと思っています。今後は、町内にある多くの芸術・文化の活動をさらに組織的なものにし、芸術・文化の質を高めていくことが必要です。そして、その中から、これまでさつま町には無かったような取り組みを進めていくことが大切だと思っています。

中学校バス通学の環境整備について

バス通学について全生徒が余裕をもって利用できるように宮之城中学校専用のスクールバスの整備を急いでお願いしたいです。

教育長 通学バスについては、住民の皆様からも、バス停付近の安全対策や交通渋滞など、さまざまな御意見や御要望も伺っているところです。中学校の通学優先バスも運行から4年目を迎え、様々な課題や問題点があることは承知いたしております。そこで、これまでの実績や現状を分析しながら、スクールバス化についても教育委員会をはじめ、中学校とも連携しながら、協議会での検討、協議を行い安全で安心して生徒が登下校できる環境づくりに努めて参りたいと考えております。



宮之城中学校
たしま ゆう
田島 有来さん



※当日の会議録と、都合により欠席された永森さんの質問内容をホームページに掲載しています。

永野金山について

現地を散策してから、永野金山に対する思いが更に強くなりました。町として貴重な金山の歴史を後世の人たちにどのように伝えていかれるのでしょうか。

教育長 学校での金山学習などの郷土教育の推進や、永野地区で行われている活動や文化財ボランティアの皆様のお力をお借りしながら、後世にしっかりと伝えていく努力をしていきたい。また、金山はさつま町と霧島市で呼び分けていますが、金山の歴史を残していくため、霧島市との連携の検討も必要だと考えています。



ひがし ち づ こ
東 千鶴子さん

参加者の感想

- ・緊張したけど、思ったことをちゃんと話せてよかった。（堀之内義人さん）
- ・したことがない経験をして、人生で一番いい経験になった。（堀之内楽さん）
- ・さつま町議会の内容や雰囲気に興味を持ち参加しました。自分の順番になるまでとても緊張したが、質問に町長や教育長にしっかり答えていただけたのでうれしかったです。（井上志乃さん）

町民自ら町政に意見・質問を!!

あなたも一日議員を開催

10月2日(日)にさつま町女性団体連絡協議会主催の「あなたも一日議員」が開催されました。当日は、町内の小学生8名、中学生2名、一般1名の計11名が一般質問を行い、議事はさつま町議会議員の上別府ユキ議員が議長を務め、定例会本番さながらの一般質問形式で町政に質問をしました。



柏原小学校
にいどめ そうた
新留 蒼大 さん

環境への取組について

最近、発電するときに二酸化炭素が発生しない発電方法が注目されていますが、そういう発電方法に進捗がありますか。

町長 さつま町にある太陽光発電は、1年間で計算すると1,230万Kwhとなり、町内の約40%の3,400世帯分の年間使用電力量をまかなうことができます。また、佐志地区において、現在大規模な太陽光発電が建設中であり、その発電量は1年間で6,180万Kwhの約1万7,000世帯分が見込まれていますので、さつま町の全世帯数をまかなうことができることになります。

児童間交流について

小さい学校の児童がスムーズに中学校生活を始められるように、来年の中学1年生のための交流の場を作ってほしいです。

教育長 来年度以降、陸上記録会で児童同士の交流ができるような競技を考えたり、音楽発表会でもより多くの交流が図られるように、プログラムを工夫したりしていきたいと思います。また授業でも、タブレットを活用した学校同士の交流授業を今後も積極的に行えるように、小学校の先生方をお願いしていきたいと思います。



求名小学校
かわさき ゆうしん
川寄 優真 さん



求名小学校
しんでん たける
新田 健琉 さん

学校給食における地産地消について

さつま町の小・中学校の給食において地産地消は何%ですか。もし高い数値なら、それを維持するためにどのような工夫をしているのか教えてください。

町長 さつま町では、鹿児島県産まで含めた割合は、65.7%となり全国平均を10%近く上回る結果となっております。次に地産地消の取組についてですが、町では、地産地消推進会議を毎年開催し、農協・市場・役場の関係者が集まって協議しています。そのなかで、青果市場に出荷される野菜等の時期を把握し、旬の野菜を使った献立を学校給食に取り入れています。

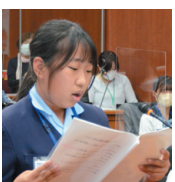
さつま町のSDGsの取組について

さつま町ではどのような取組があるのか、自分たちにどのようなことができるか知りたくまりました。さつま町のSDGsの取組について教えてください。

町長 町民の方にまちづくりに参加してもらいながら、町民が快適で安心した生活を続けられるよう、9月22日に「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」を行いました。また、すべての人が性別に関係なく平等にくらせるまちづくりなど、町民や地域、学校、事業所などが一緒になって取り組むことを目指しています。



求名小学校
みつその みさき
満園 美咲 さん



鶴田小学校
なかね
中根 あこ さん

さつま町の魅力発信について

さつま町の魅力をたくさんの人に知ってもらうためには私たちはどのようなことをしたいですか。

町長 町では、昨年から農協さんや商工会さん、そして観光特産品協会さんと一緒になって「薩摩のさつま」というブランドづくりに取り組んでいます。魅力を伝えるのに必要なことは、まず、その商品や品物が、どういうものか知ることが大事です。そして、その魅力を伝えるためには、商品の歴史やこだわりなどの背景を添えて伝えることが必要だと思っています。

学校の環境整備について

年々夏の暑さが増してきています。運動会での熱中症のリスクも高まっています。そこで校庭のフィールドを芝生にすることはできませんか。

教育長 過去に、校庭の全面芝生化についての話合いが行われたことがあったところですが、そこで、校庭の排水の問題と芝生の維持・管理をどういった形で進めていくかという課題が上がりました。将来的には、校庭の芝生化も含め、暑さ対策を検討していきますが、皆様の御意見等をお聞きしながら、必要性や実施方法等について研究、検討を行います。



盈進小学校
ほりのうち がく
堀之内 楽 さん

※一般質問は紙面の都合上内容を一部省略して掲載しています。ご了承ください。

議 会 活 動



青森県六ヶ所村議会からの行政視察受入(9月29日)



宮崎県綾町議会からの行政視察受入(10月20日)



国道504号さつま町・出水区間
改良整備促進議員期成会総会時現地視察(10月12日)



高規格道路「北薩横断道路」
整備促進地方大会 (10月14日)



《表紙紹介》

10月2日に開催された「あなたも一日議員」の様子。参加者の質問内容はP16～P17をご覧ください。



木の日の要望活動 (10月7日)

編集後記

今年9月の台風14号はさつま町の真上を通過して、吹き荒れる強い風に、水田の約2割に倒伏被害があったと報告がありました。倒れた稲の株を起こしながら風の通り道にふが悪いなど空の雲を見上げました。

一般質問は、今回8人。議会だよりは質問者からの原稿を尊重して、その持ち味を味わってもらいたい。そして議会改革は定数と報酬、議会活性化に向けて意見を集約していきます。

議会からの情報発信の量を増やし関心を持ってもらえる、市政のあらゆる課題を問うにご期待ください。
(中村)

議会広報特別委員会

委員長 上久保 澄雄
副委員長 有川 美子
委員 中村 慎一
委員 古田 昌也